

NY マーケットレポート (2015 年 2 月 4 日)

NY 市場では、ADP 雇用統計や ISM 非製造業景況指数など、主要な経済指標の発表があったものの、週末の米雇用統計の発表を控えて様子見ムードも強く、積極的な売買が手控えられたことから、ドル円・クロス円は序盤からもみ合いの展開が続いた。ただ、原油価格が下落したことを受けて、資源国通貨は上値の重い展開が続いた。そして、終盤には、「ギリシャ政府が発行ないし、全面的に保証する市場取引が可能な債券を対象とした特例措置を解除することを決定した」と ECB が発表したことを受けて、リスク回避の動きが強まり、米株価が大きく下落し、米債利回りが急低下したことから、安全資産として円が買われ、ドル円・クロス円は終盤に大きく下落する動きとなった。

2015/2/4 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	117.53	118.00	117.44
EUR/JPY	134.77	135.35	134.70
GBP/JPY	178.21	178.84	177.99
AUD/JPY	91.90	92.37	91.25
EUR/USD	1.1467	1.1481	1.1455

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	117.58	117.25
EUR/JPY	134.88	134.20
GBP/JPY	179.05	177.73
GBP/JPY	92.17	91.32
EUR/USD	1.1477	1.1435

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17678.74	+342.89
ハンセン指数	24679.76	+124.98
上海総合	3174.13	-30.78
韓国総合指数	1962.79	+10.83
豪ASX200	5777.34	+69.98
インドSENSEX指数	28883.11	-117.03
シンガポールST指数	3417.57	+9.55

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6860.02	-11.78
仏CAC40	4696.30	+18.40
独DAX	10911.32	+20.37
ST欧州600	372.10	+1.82
西IBEX35指数	10577.80	-20.40
伊FTSE MIB指数	20941.73	-69.82
南ア 全株指数	51630.82	-318.51

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	117.09	117.67	117.08
EUR/JPY	132.81	134.69	132.79
GBP/JPY	177.81	179.30	177.79
AUD/JPY	90.74	91.59	90.72
NZD/JPY	86.10	87.02	86.09
EUR/USD	1.1344	1.1461	1.1341
AUD/USD	0.7750	0.7799	0.7743

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17673.02	+6.62
S&P500	2041.51	-8.52
NASDAQ	4716.70	-11.03
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	14995.65	-67.23
ブラジルボルサ指数	41710.82	+138.58
ボネバ指数	49301.05	+337.39

2/5 経済指標スケジュール

09:00 【豪】12月HIA新築住宅販売
09:30 【豪】4Q NAB企業信頼感指数
09:30 【豪】12月小売売上高
15:45 【スイス】1月SECO消費者信頼感指数
16:00 【独】12月製造業受注
17:30 【スウェーデン】12月鉱工業生産
18:00 【欧】2月欧州中銀月報
18:30 【南ア】1月SACCI景況感指数
19:00 【南ア】1Q BER消費者信頼感
21:00 【英】政策金利発表
21:30 【米】1月チャレンジャー人員削減数
21:30 【米】2月RBC消費者予測指数
22:30 【米】12月貿易収支
22:30 【米】新規失業保険申請件数
22:30 【米】失業保険継続受給者数
22:30 【カナダ】12月国際商品貿易
22:30 【米】4Q非農業部門労働生産性

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1264.50	+4.20
NY 原油	48.45	-4.60
CMEコーン	383.50	-2.25
CBOT 大豆	972.00	-15.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.49%	0.51%
3年債	0.80%	0.84%
5年債	1.25%	1.29%
7年債	1.56%	1.61%
10年債	1.75%	1.79%
30年債	2.35%	2.38%

2/5 主要会議・講演・その他予定

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

21 : 00

《 経済指標の結果 》

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) 1.3% (前回 -3.2%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《MBA 住宅ローン申請指数》

	1/30	1/23	1/16	1/9	1/2	12/26	前年同期
申請指数	1.3	-3.2	16.1	46.7	11.1	-18.2	36.0
購入	-2.3	-0.1	-0.6	21.2	4.5	-9.1	3.7
借換え	2.5	-5.1	24.2	63.9	16.0	-24.3	57.7
固定金利	1.7	-2.4	15.5	45.1	12.2	-17.7	39.2
変動金利	-5.4	-13.5	27.1	75.8	-6.3	-26.6	-2.6

(%)

ローン契約平均金利 (%)

固定金利 30 年	3.79	3.83	3.80	3.89	4.01	4.04
固定金利 15 年	3.14	3.15	3.10	3.16	3.24	3.32

21 : 05

《企業決算》

米メルク

第4四半期 調整後の1株利益は0.87ドル (予想0.86ドル)

21 : 35

《企業決算》

米GM

第4四半期 調整後の1株利益は1.19ドル (予想0.83ドル)

21 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

ポーランド政策金利発表 2.00% (予想 2.00%・前回 2.00%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所: ネットダニアー)

22:00

ドル/円 117.43 ユーロ/円 134.55 ユーロ/ドル 1.1459

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6835.04	-36.76	ダウ INDEX FUTURE	17553	-19
仏 CAC40	4673.16	-34.84	S&P500 FUTURE	2037.00	-5.10
独 DAX	10856.11	-34.84	NASDAQ FUTURE	4205.00	-11.25

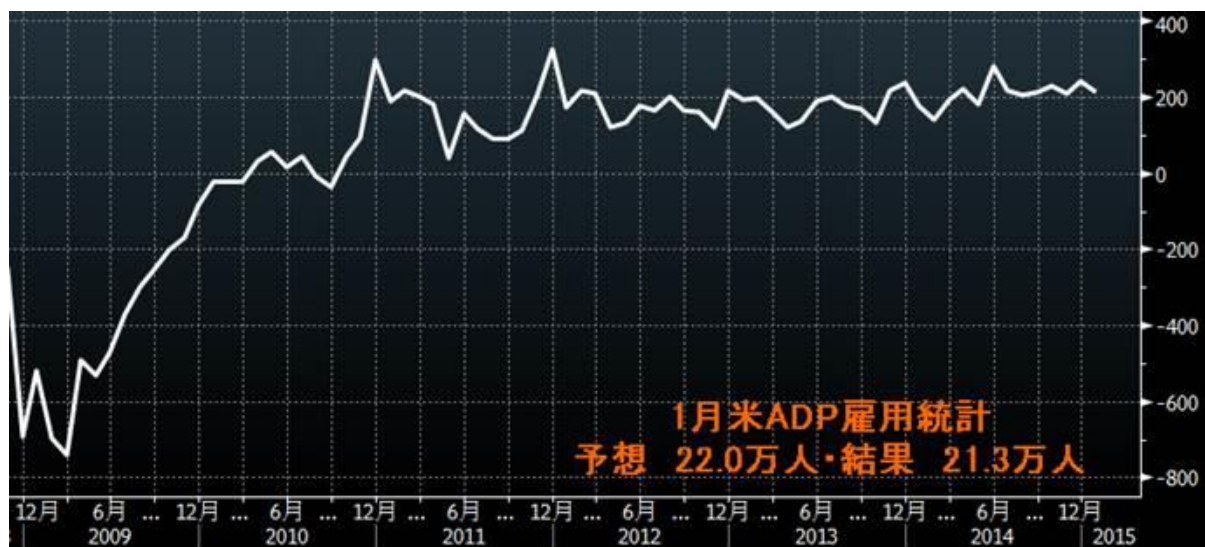
(出所:SBILM)

22:15

≪ 経済指標の結果 ≫

1月米ADP雇用統計 21.3万人(予想 22.0万人・前回 25.3万人)

前回発表の24.1万件から25.3万人に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

≪ADP雇用統計≫

1月・12月・11月・10月・9月・8月・7月

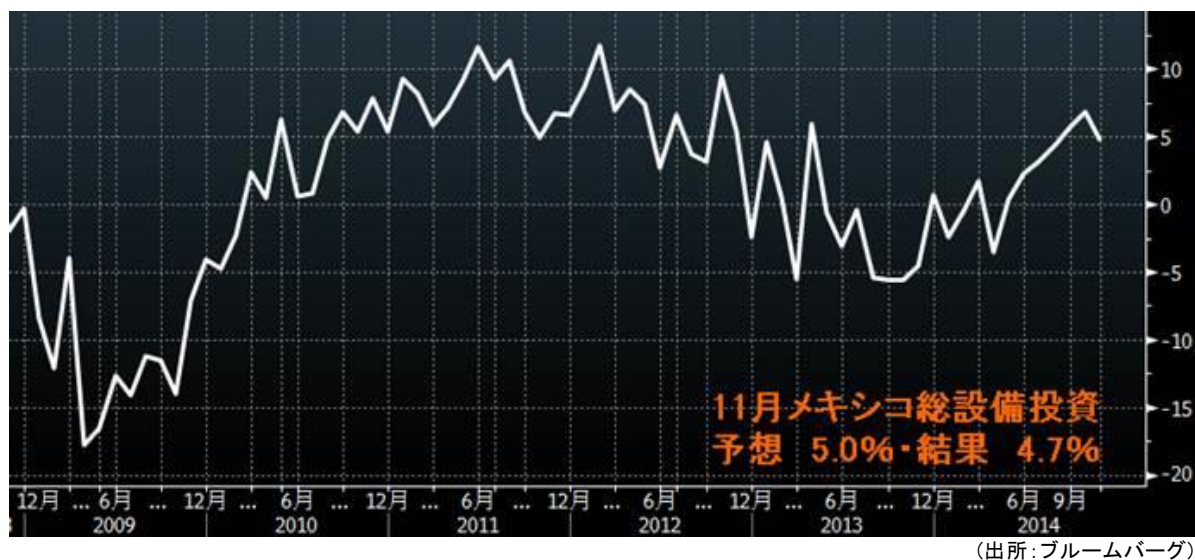
ADP雇用者数(前月比)・21.3・25.3・22.7・23.3・22.5・16.2・21.7

(万人)

23:00

≪ 経済指標の結果 ≫

11月メキシコ総設備投資 4.7%(予想 5.0%・前回 6.8%)



23 : 33

米主要株価

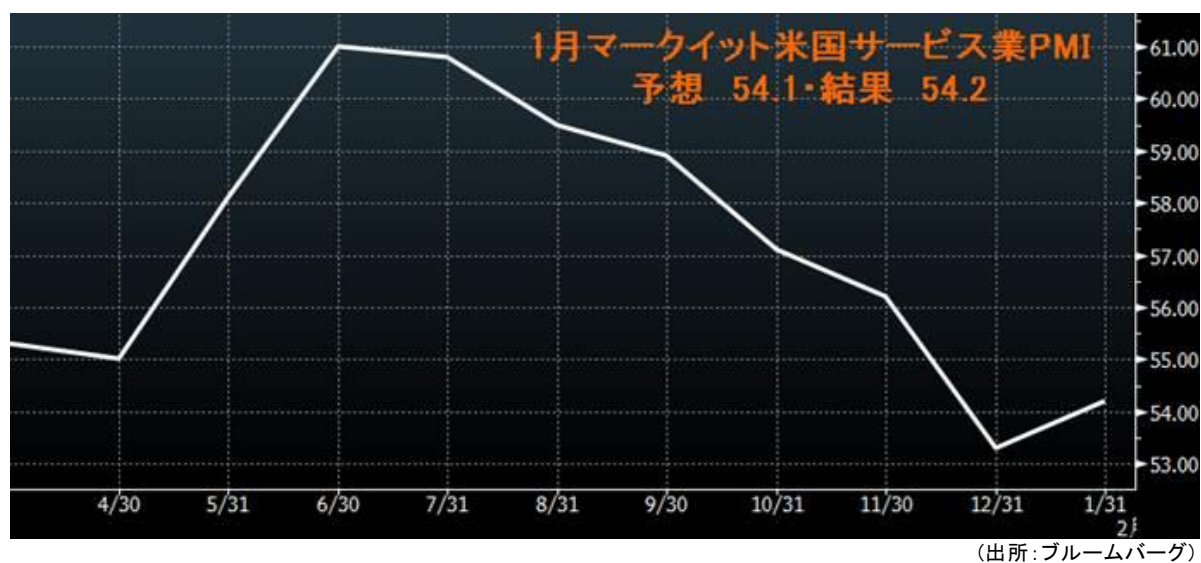
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17650.54	-15.86
ナスダック	4707.50	-20.23

(出所:SBILM)

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

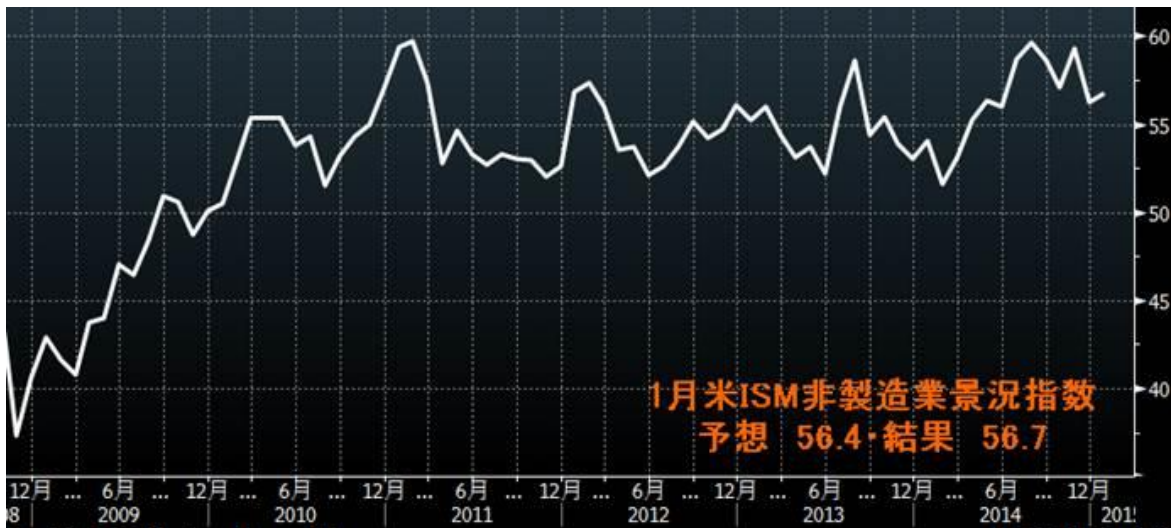
1月マークイット米国サービス業 PMI 54.2 (予想 54.1・前回 54.0)



0:00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米ISM非製造業景況指数 56.7 (予想 56.4・前回 56.5)
 前回発表の 56.2 から 56.5 に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

◀ ISM 非製造業景況指数 ▶

	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月
総合指数	56.7	56.5	58.8	56.9	58.1	58.6	57.9
景況指数	61.5	58.6	63.4	60.5	62.0	63.1	61.3
仕入価格	45.5	49.8	55.0	52.8	55.2	57.3	60.0
新規受注	59.5	59.2	61.0	59.3	60.5	62.1	62.6
雇用者数	51.6	55.7	56.3	58.3	57.8	56.6	56.1

0:00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月カナダIvey購買部協会指数 45.4 (予想 53.4・前回 55.4)



(出所:ブルームバーグ)



0 : 30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・633 万バレル増加
ガソリン在庫・・・234 バレル増加
留出油在庫・・・179 万バレル増加

0 : 35

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、前日に大幅上昇したことによる利益確定売りが先行したものの、米景気の先行きに対する期待感を受けた買いも入り、売買交錯する展開が続いている。

《 経済指標のポイント 》

(1) MBA (全米抵当貸付銀行協会) が発表した住宅ローン申請指数は、前週比+1.3%となり、前週の-3.2%からプラスに転じた。購入指数は-2.3% (前週-0.1%) となったものの、借り換え指数が+2.5% (-5.1%) と改善したことが全体を押し上げる結果となった。30 年固定金利型の住宅ローン金利は 3.79% (前週 3.83%)、15 年固定金利型の住宅ローン金利は 3.14% (3.15%)。申請全体に占める借り換えの割合は 71.2% (前週 71.6%)

(2) 1 月米 ADP 雇用統計では、民間部門雇用者数が前月比+21.3 万人となり、市場予想の+22.3 万人を下回り、昨年 9 月以来の低水準となった。ただ、5 カ月連続で 20 万人を上回る結果となった。また、12 月分は前回発表の+24.1 万人から 25.3 万人に上方修正された。建設業は+1.8 万人、製造業は+1.4 万人、サービス業は+18.3 万人。また、従業員が 500 人以上の大企業の雇用者数は+4.0 万人、50-499 人の中堅企業では+9.5 万人、49 人以下の小企業では+7.5 万人となった。雇用増のペースはやや減速しているものの、引き続き力強い伸びを示した。また、雇用市場の回復が今年も継続することをあらゆる指標が示唆しているとの指摘も出ている。

(3) 1 月のマークイット米国サービス業 PMI 改定値は、54.2 と前月の 53.3 から上昇した。新規事業は 51.7 (12 月 52.9) となり、2009 年 10 月以来の低水準となった。マークイットの関係者は、企業が厳しい状況に直面していることは明らかとしたものの、採用は続いており、1 月の米雇用統計の非農業部門雇用者が力強い伸びになる可能性を示唆したと述べた。ただ、原油価格の急落で、コスト圧力が金融危機後以来の低水準になっており、総合インフレ率が今後数ヵ月でさらに低下する可能性があるとの見通しを示した。

(4) CB（全米産業審議会）が発表した1月の新規のオンライン求人広告数は、257万9100件となり、前月の259万7800件から減少した。前年同月の235万3400件からは+9.6%となった。過去4ヵ月間のオンライン求人広告数は、2015年1月が257万9100件、2014年12月が259万7800件、11月が275万1700件、10月が255万8800件となった。

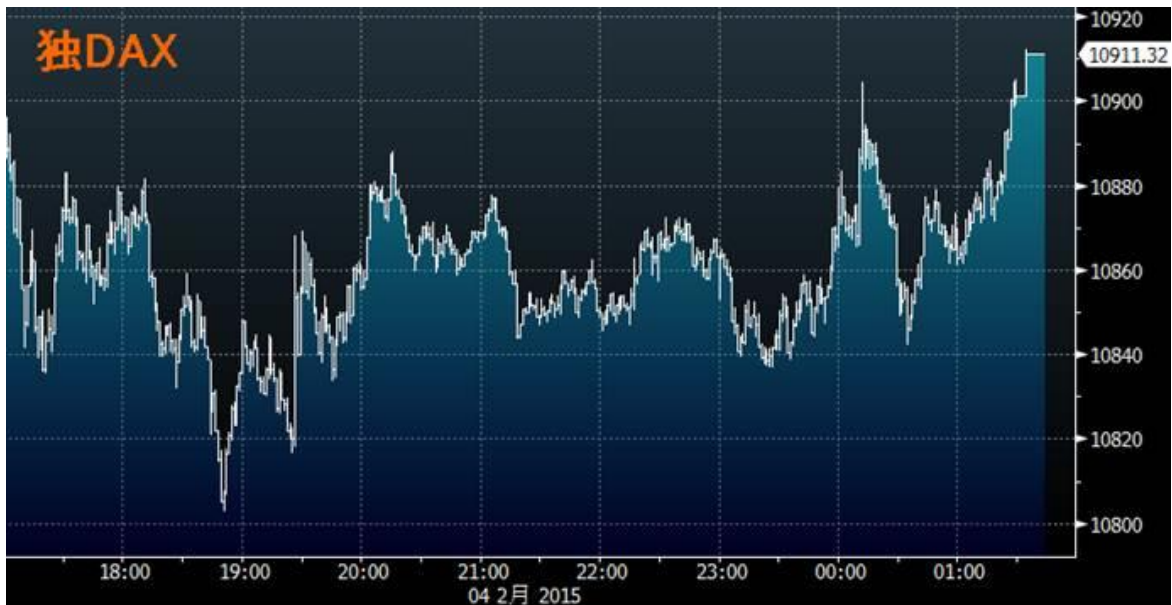
(5) 1月のISM非製造業景況指数は、市場予想の56.4を上回る56.7となり、前月の56.5からも上昇となった。景気指数は61.5（前月58.6）と、昨年9月以来の高水準となり、全体を押し上げる結果となった。一方、雇用指数は51.6（前月55.7）、昨年2月以来の低水準となった。また、新規受注指数は59.5（前月59.2）と小幅上昇となったが、価格指数は45.5（前月49.8）と、2ヵ月連続で50を下回った。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6860.02	-11.78
仏 CAC40	4696.30	+18.40
独 DAX	10911.32	+20.37
ストック欧州 600 指数	372.10	+1.82
ユーロファースト 300 指数	1487.20	+8.40
スペイン IBEX35 指数	10577.80	-20.40
イタリア FTSE MIB 指数	20941.73	-69.82
南ア アフリカ全株指数	51630.82	-318.51

（出所：SBILM）

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。独 DAX は、ギリシャの債務交渉の先行き期待からプラス圏に値を戻したものの、英 FT100 は原油価格の下落が圧迫要因となり、小幅安となった。



（出所：ブルームバーグ）

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17725.52 (+59.12)、 S&P500 2050.61 (+0.58)、 ナスダック 4730.75 (-3.02)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、英金融情報サービス会社マークイットが発表したユーロ圏の 1 月のマークイット PMI 総合指数が堅調な伸びとなったほか、1 月の米 ISM 非製造業景況指数が市場予想を上回ったことを受けて、安全資産とされる米国債を売る動きが先行した。また、中国人民銀行が預金準備率引き下げを発表したことも、国債の売り材料となった。

午前の利回りは、30 年債が 2.42%（前日 2.36%）、10 年債が 1.82%（1.80%）、7 年債が 1.63%（1.61%）、5 年債が 1.32%（1.29%）、3 年債が 0.86%（0.84%）、2 年債が 0.53%（0.51%）。

《 欧州のポイント 》

①アイスランド中銀は、主要政策金利である 7 日物貸出金利を 5.25%、7 日物預金金利を 4.50%に据え置くことを決定した。2015 年の経済成長見通しは、3.5%から 4.2%に上方修正した。ただ、不安定な原油価格により見通しは不透明になっているとした。アイスランド中銀は、11 月に 0.25%、12 月に 0.50%利下げをしている。

②EU 統計局が発表した 2014 年 12 月のユーロ圏小売売上高は、前月比+0.3%（予想+0.2%）、前年比+2.8%（2.0%）となり、いずれも市場予想を上回る結果となった。特に、前年比では 2007 年 3 月以来約 8 年ぶりの大きな伸び率となった。原油安を背景とした物価の下落によるエネルギー需要や、クリスマスや年末などが影響したと考えられる。

③ドイツのメルケル首相は、ギリシャ新政権が債務と国際支援の条件について再交渉を試みていることに関して、ドイツと他のユーロ圏諸国との間に大きな見解の相違はないと述べた。メルケル氏は、「ユーロ圏加盟国のギリシャに関する見解が少なくとも実質的な意味で違うとは思わない」と語った。

④ギリシャのツィプラス首相は、EU の法的枠組み内でギリシャの経済問題への解決策を模索する考えを明らかにし、EU との交渉は正しい方向に進んでいるとの認識を示した。ツィプラス首相は、ユンケル欧州委員長やトウスク EU 大統領、欧州議会のシュルツ議長らと会談した。首相は「われわれの共通の未来のために実行可能で双方が受け入れられる解決策を見出すことに全力を尽くす。非常に楽観視している」と述べた。「ギリシャ国民の主権を尊重し、国民に対する責務を果たすことがわれわれの目的だ」と発言する一方で「同時に EU の規則も順守する。枠組みを破棄するのではなく修正したいと考えている。この枠組の中で実現可能な共通の解決策を見出せると確信している」と述べた。

2 : 45

《 要人発言 》

メスター・クリーブランド連銀総裁～講演

- ・「今年前半の利上げを問題視せず」
- ・「利上げはすぐに適した時期になるだろう」

4 : 05

ギリシャは、ECB の支援なければ 3 月に資金逼迫に直面する～関係者

4 : 20

NY 金は、中心限月が前日比 4.20 ドル高の 1 オンス＝1264.50 ドルで取引を終了した。

5 : 30

NY 原油は、中心限月が前日比 4.60 ドル安の 1 バレル＝48.45 ドルで取引を終了した。

5 : 45

ECB

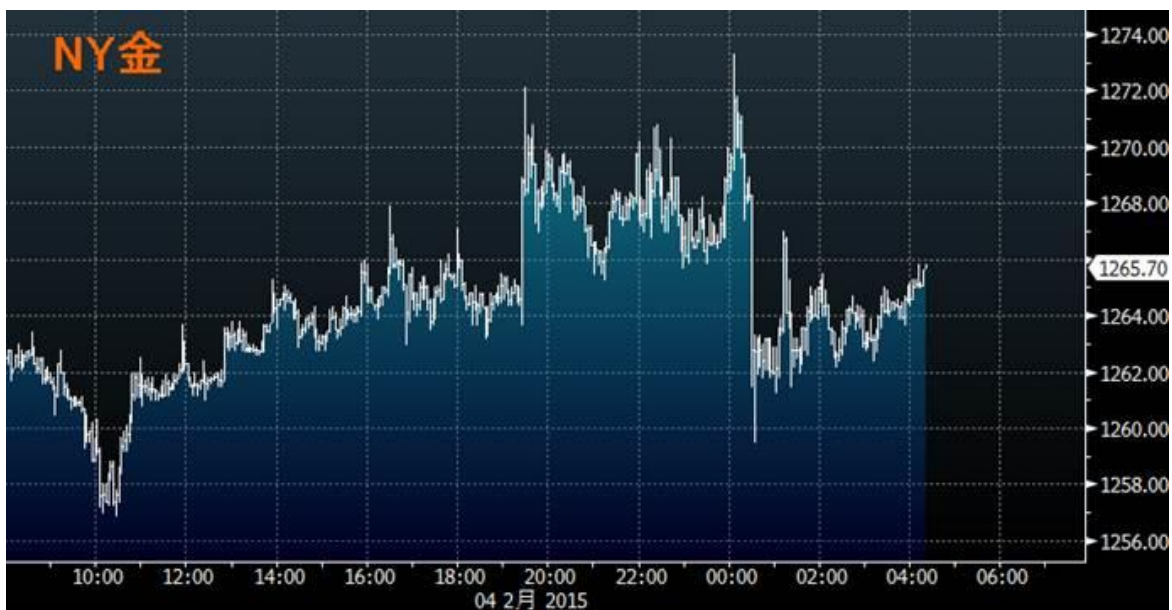
- ・「担保としてのギリシャ国債に関する特例措置を解除」
- ・「ギリシャ中銀が銀行の流動性ニーズを満たすこと可能」

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1264.50	+4.20
NY 原油	48.45	-4.60

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

NY 金は、中国が預金準備率を引き下げて追加の金融緩和に踏み切ったことで、金市場に資金が流入するとの見方から堅調な動きとなった。また、原油相場が大幅下落となったことで、逃避的な動きも出た。



(出所: ブルームバーク)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、米国の原油在庫が市場の予想以上に増加し、1982 年の統計開始以降で最高となったことから、供給過剰懸念が再燃し、大幅下落となった。終値ベースでは、2 日ぶりに 50 ドルの大台を割り込んだ。



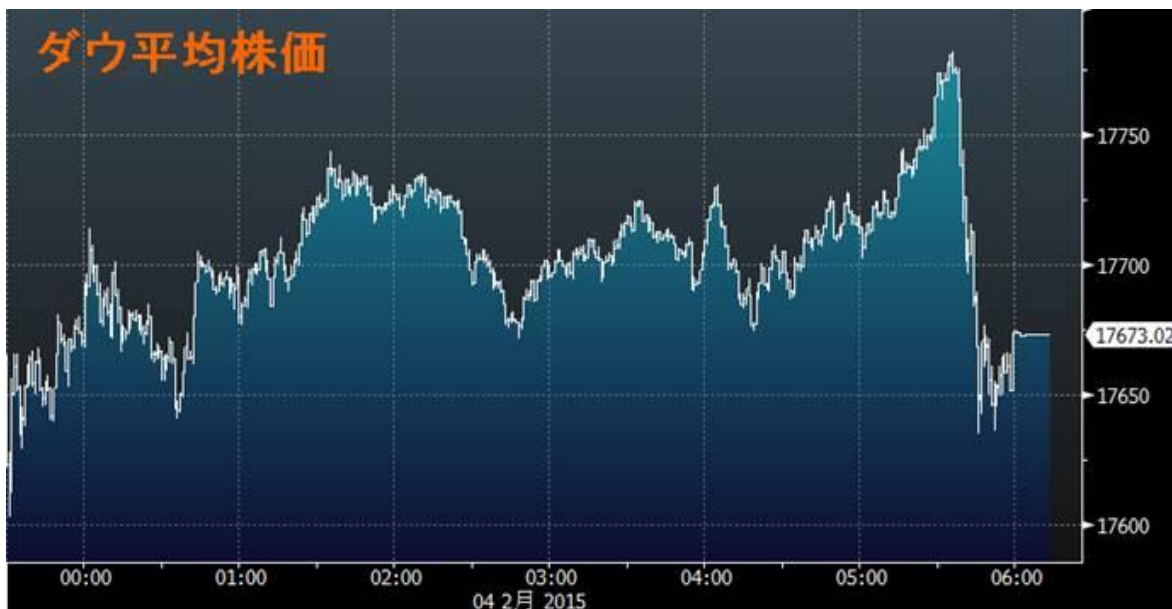
(出所: ブルームバーク)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17673.02	+6.62	17782.22	17603.21
S&P500 種	2041.51	-8.52	2054.74	2036.72
ナスダック	4716.70	-11.03	4744.33	4697.79

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、前日に大幅上昇したことによる利益確定売りが先行したものの、米景気の先行きに対する期待感を受けた買いもあり、売買交錯する動きとなった。また、米雇用統計を控えて様子見ムードも強く、値動きは限定的となった。しかし、ECB がギリシャ債に関する特例措置解除を発表したことを受けて、主要通貨は終盤に急落する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなったものの、その後はプラス圏まで値を戻したもののみ合いの展開が続いた。そして、終盤には高値か一時 140 ドル以上下げる場面もあった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	117.09	117.67	117.08
EUR/JPY	132.81	134.69	132.79
GBP/JPY	177.81	179.30	177.79
AUD/JPY	90.74	91.59	90.72
NZD/JPY	86.10	87.02	86.09
EUR/USD	1.1344	1.1461	1.1341
AUD/USD	0.7750	0.7799	0.7743

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、週末の米雇用統計を控えてドル円・クロス円はもみ合いの展開が続いた。ただ、原油価格が下落したことから、資源国通貨がやや軟調な動きとなった。そして、終盤に株価が大きく下落する動きとなったことを受けて、ドル円・クロス円も一段の下げとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。